



情報革命で人々を幸せに  
～技術の力で、未来をつくる～

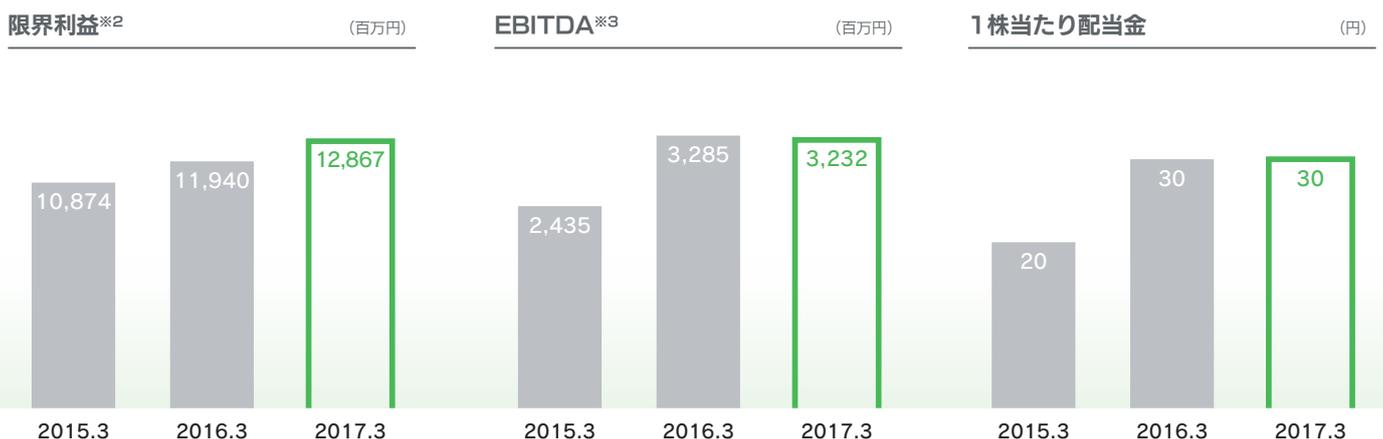
SoftBank  
Technology

ソフトバンク・テクノロジー株式会社  
**株主通信** 2016.4.1-2017.3.31

証券コード：4726

FINANCIAL HIGHLIGHT 決算ハイライト

- ➔ SBグループ・公共向け案件の伸長により、売上高は500億円を超え過去最高を更新
- ➔ 期初に掲げた100名採用を達成、固定費が増加し営業利益は減益
- ➔ 税制改正と子会社の繰延税金資産<sup>\*1</sup>計上増加により、当期純利益は13.8%増



※1 将来の会計期間に帰属すべき税金費用を当期に前払いしたと考え、これを繰延処理することにより生じる資産  
 ※2 限界利益は「売上高-変動費(売上とともに変化する商品仕入や外注費、物流費等)」で算出  
 ※3 EBITDAは「営業損益+減価償却費+のれん償却費」で算出

# TOP MESSAGE

トップメッセージ



## お客様のビジネスパートナーへ

代表取締役社長 CEO 阿多 親市

### 株主の皆さまへ

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第29期（2017年3月期）の事業の概況や今後の取り組みについてご説明させていただきます。

### クラウドサービスを活用した開発案件から 運用・サービスのストックビジネスが順調に拡大

「デジタルマーケティング」「プラットフォームソリューション」「クラウドシステム」いずれの事業も順調に推移しました。特にソフトバンクグループ向けシステム開発や大型機器販売の受注増、自治体向けセキュリティ構築案件の売上拡大、シマンテックストア事業の好調な伸長により、売上高は502.2億円（前期比+11.2%）と過去最高となりました。形態別では、運用・サービスに先立つシステム開発が30%を超える高い伸び率を示しています。確かに開発業務はリスクを伴いますが、安定成長の基盤を作る礎として、引き続き案件獲得に取り組んでまいります。

利益面は、営業利益は22.4億円（同△2.9%）と減益となりました。目標に掲げた100名採用（純増102名）を達成し、固定費が増加したことによるものですが、依然として人材リソースは不足している状態にあります。2018年3月期はパートナー制度導入による分業体制構築に着手するほか、省力化に向けたAI活用も含め、上流工程へのシフトに向けた教育・運用効率化への投資を実施してまいります。

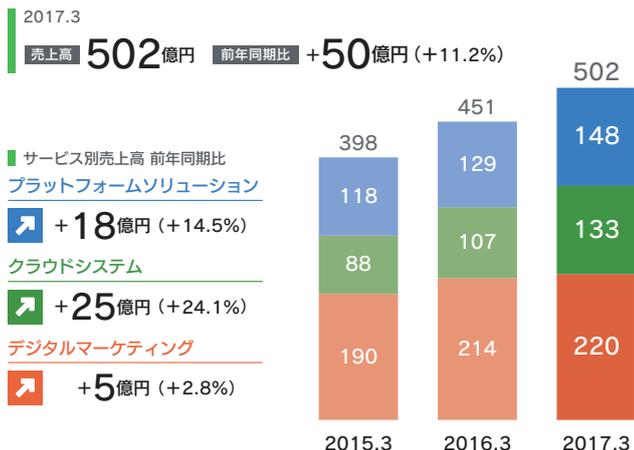
### 経営基盤を強化しながら、クラウド事業・IoT領域の 優位性を最大限に発揮し、「大きな成長」の実現へ

IoT時代に最も必要とされるクラウド企業となることを命題に、2016年4月より、「クラウドへの集約」「IoTビジネスの開発」「経営基盤の強化」の3つを基本戦略に掲げ、邁進しております。「クラウドへの集約」は、これまで積み上げてきたクラウドの技術力と実績を強みに、戦略領域となるビッグデータやAI、セキュリティ等をクラウド上で融合し、ワンストップで提供する提案を強化しております。「IoTビジネスの開発」では、先端技術の教育・実証実験などへの積極投資の継続、データ活用やAIによる価値創出を推進するほか、子会社群においてThings側となるIoTデバイスへの価値創出にも注力しながら、「サービス利用料×デバイス数」でスケール可能なビジネスモデルの構築を目指してまいります。2年前より進めてきたプロジェクトマネジメントに関する国際資格PMPの取得者は100名を超え、1つの目標を達成しました。この取り組みを継続しながら、ノウハウ共有および外部パートナーとのリレーションシップの強化、人材獲得と定着、生産性向上のため働き方改革を推進し、さらなる「経営基盤の強化」を進めてまいります。

2018年3月期は、売上高520億円（前期比+3.5%）、営業利益25億円（同+11.6%）を計画しております。

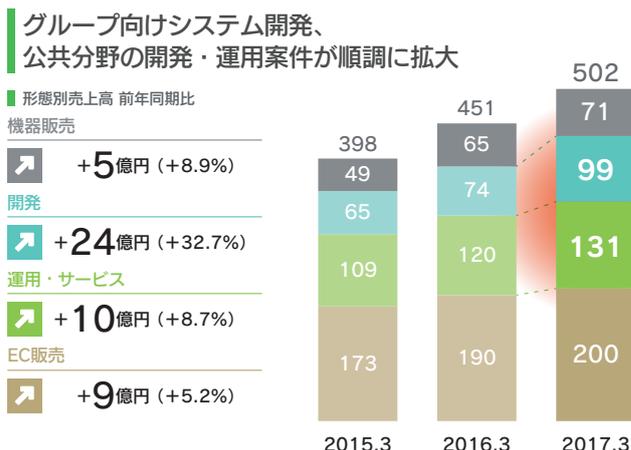
### サービス別売上高

(億円)

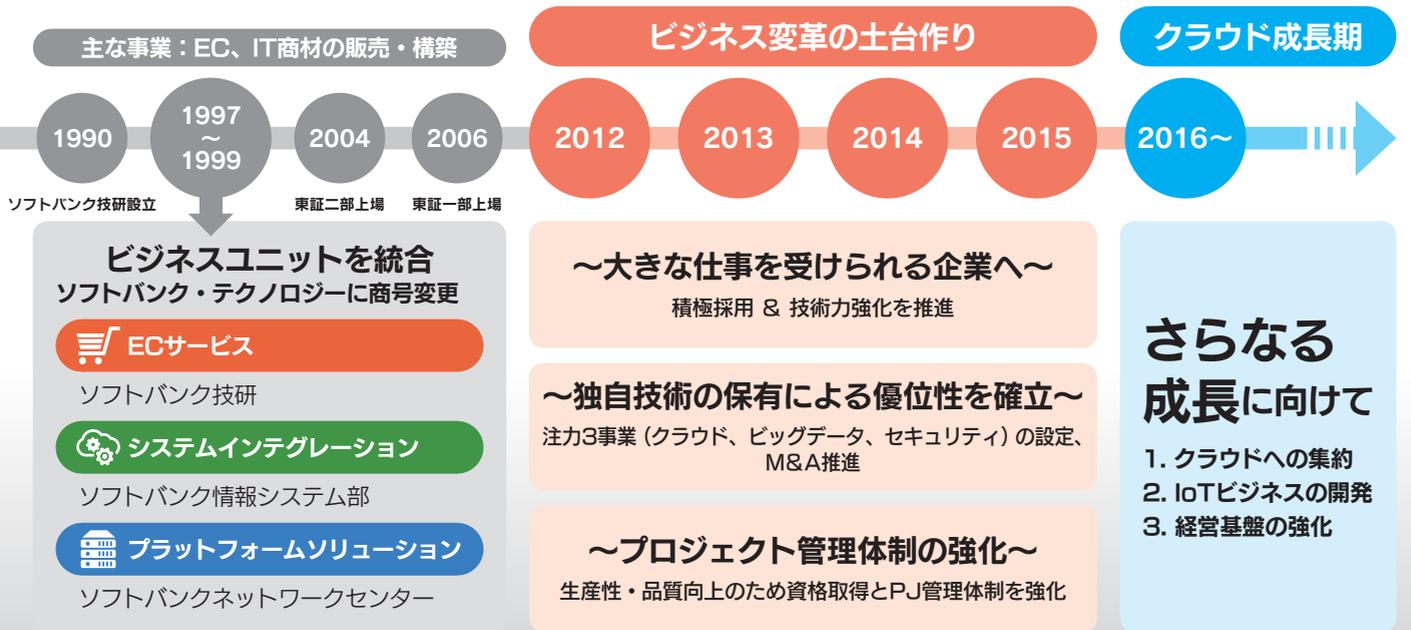


### 形態別売上高

(億円)



# SBTの歩み



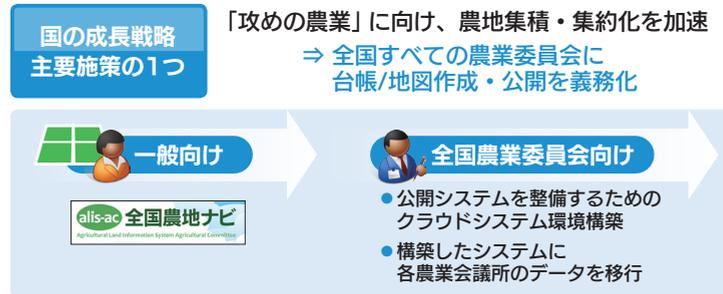
## TOPICS トピックス

### ① 公共案件の強化

農水省からの委託事業として2015年3月期より開発・運用してきた「全国農地ナビ」は、各都道府県から農地を検索し、農地台帳の公開項目をインターネット上の地図で確認可能なウェブサイトです。2018年3月期以降も複数年運用などの対応を継続してまいります。

また、当社では高度な専門知識を有する技術者を多く育成し、日々巧妙化して増加するセキュリティ攻撃に対する知見と経験を蓄積しています。2016年3月、マイナンバーを扱う地方公共団体の情報セキュリティ強化を目的に、総務省は236億円の補助金交付を決定しました。当社は2017年3月期に4県で県別の要件に合わせ自治体情報セキュリティクラウドを構築し、今後は各県のセキュリティ運用を担ってまいります。

#### 全国農地ナビの展開



#### 自治体情報セキュリティ強化対策の展開



### ② 残業削減への取り組み

2017年3月期は、出勤義務のある時間帯をなくしたフレックスタイム制への移行、定時退社デーの定着、さらにはプレミアムフライデーの実施などにより、1人当たりの月平均残業時間は30.7時間となり、前年度に比べて10時間以上の削減となりました。

#### 残業時間の削減 (月平均)

2016.3 : 41.8時間  
→ 2017.3 : 30.7時間  
(対前年 26.5%削減)



## SBTの目指す姿

# 法人・官公庁を対象とした国内有数の Cloud & IoTサービス提供グループ

ビジョン実現に向けた3つの基本戦略

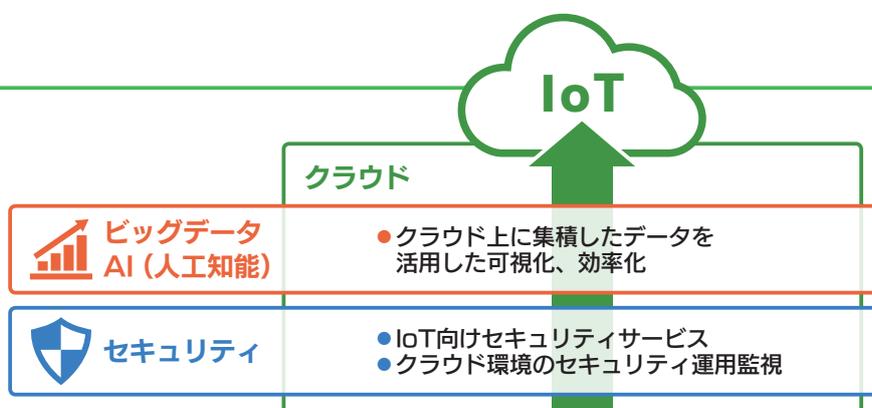
1  
クラウド  
への集約

2  
IoT  
ビジネスの  
開発

3  
経営基盤  
の強化

## 1 クラウドへの集約

従来より行ってきたECビジネスやソフトバンクグループ向けの開発・機器販売にとどまらず、お客様のクラウド化を推進し、クラウド環境のセキュリティ運用監視やビッグデータやAIの活用、IoT向けサービスなどへ事業領域を広げています。



## 2 IoTビジネスの開発

当社は中期事業戦略として、IoT（モノのインターネット）ビジネスの開発を掲げています。IoT機器の製造時に当社グループの製品・サービスが組み込まれ、機器製造数の増加が当社の売上増加に繋がるビジネスモデルを想定しています。

2017年3月期には英ARM社とのパートナー契約を締結し、IoTデバイスの管理に用いる英ARM社のクラウドプラットフォームを活用し、ベルト装着型IoTデバイスを用いたストレス度の計測に関する実証実験プロジェクトを他社と共同で発足しました。

また、ルネサス エレクトロニクス株式会社の産業機器向け高性能プロセッサのRZ/Gシリーズを活用するIoTサービスのエコシステム構築から運用までを包括的に支援しています。

さらに、子会社であるサイバートラストの電子認証技術とミラクル・リナックスのIoTに最適な組込みLinuxソリューションを活用して、IoTデバイスの製造時から定期的なソフト更新時まで安全に行える仕組みの提供や実証実験を行っています。

当社グループの技術を結集



専用ソフトウェア  
セキュリティ  
表示用書体



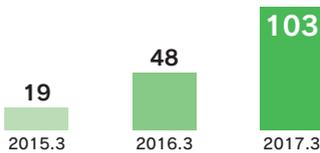
× 機器製造数

# 3 経営基盤の強化

## PMP取得の推進

プロジェクト管理体制を強化し生産性と品質の向上を図るため、社員に対して高度資格であるPMP（プロジェクト管理の国際標準資格）の取得を推奨し、PMP取得者は100名を超えています。

**PMP取得者103名達成**



## 外部パートナーとの連携強化

外部パートナーをより活用し、開発に必要な人員の安定確保に取り組み、当社社員はIoTやクラウドで事業を拡大するための企画提案やプロジェクト管理、運用に注力できる体制にすることでプロジェクト収益の最大化に取り組んでいきます。



## 働き方改革の推進

生産性向上および優秀な人材の獲得と定着のため、働き方改革を推進しています。業務フローの見直しを行い、改善のために自社サービスを積極的に利用したり、社員の働きやすさや意欲が高まる人事施策に取り組んでいます。

### 人事施策例

- スーパーフレックス制
- 定時退社デー
- FA制度による配置転換

# NEWS HIGHLIGHT 2016.4→2017.3 ニュースハイライト

2016.6.2

## グローバルで4冠受賞!



国内初! 2016 Microsoft World Wide Partner Award で4冠受賞 (自社調べ)

2016.8.29

## 国内最多3冠受賞!



- Messaging アワード
- Public Sector アワード
- Cloud Platform アワード

「マイクロソフト パートナー オブ ザ イヤー 2016」国内最多3冠受賞!

2016.9.1



ソフトバンク・テクノロジー、3社協業でICT農業支援事業を本格始動

2016.9.29

ARM Limitedとのパートナー契約締結に関するお知らせ

2016.9.30

品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001」の認証を取得

2016.10.6

ソフトバンク・テクノロジー、日本マイクロソフトのテレワーク推進に賛同

2016.11.14

McAfee SIEM 認定スペシャリスト数が世界一! (2016年10月時点)

2016.12.14

空港の案内ロボットとしてPepperを活用する実証実験を実施 (M-SOLUTIONS)

2017.1.24

簡単操作で、ドローン活用を支援する「Smart at drone」を提供開始 (M-SOLUTIONS)

2017.2.1

プレミアムフライデーを開始し働き方改革を加速、フレックスタイム制移行も完了



2017.2.8

スペシャリストな学生が活躍できるステージを! 「グレードスキップ制度」開始

2017.2.22

子会社 (フォントワークス) の代表取締役の異動に関するお知らせ

2017.3.22

ベルト装着型IoTデバイスを用いたストレス度の計測に関する実証実験プロジェクトを発足

2017.3.28

ルネサスの提供するIoTデバイス開発のエコシステムを構築・運用支援

110名  
が参加!



## ファミリーデー2016開催報告

2016年8月18日(木)、25日(木)の2日間にわたり「ファミリーデー2016」を新宿オフィスで開催しました。ファミリーデーは、社員のご家族に職場訪問を通じて仕事に対する理解を深めてもらうと共に、社員同士の交流を通じたコミュニケーションの活性化を目的として2014年より開催しています。今年は合計29組110名の社員およびその家族が参加し、オフィス見学や家族紹介のほか、Pepper と音頭を踊ったりビンゴゲームをして楽しみました。



## CORPORATE DATA / SHARE INFORMATION 会社情報/株式情報

### 会社概要 (2017年3月31日現在)

商号	ソフトバンク・テクノロジー株式会社
本店所在地	東京都新宿区新宿六丁目27番30号
事業内容	ICTサービス事業
ホームページ	<a href="http://www.softbanktech.co.jp/">http://www.softbanktech.co.jp/</a>
資本金	785百万円
従業員数	連結960名

### 役員 (2017年6月19日現在)

代表取締役社長CEO	阿多 親市	常勤監査役(社外)	上野 光正
取締役	佐藤 光浩	監査役(社外)	廣瀬 治彦
取締役	後藤 行正	監査役(社外)	中野 通明
取締役	眞柄 泰利	監査役	三村 一平
取締役(社外)	鈴木 茂男		
取締役(社外)	宗像 義恵		

### 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金基準日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL.0120-288-324(フリーダイヤル)
上場取引所	東証第一部(コード番号 4726)
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による掲載ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 <a href="http://www.softbanktech.co.jp/">http://www.softbanktech.co.jp/</a>

### お知らせ

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記連絡先(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。  
(特別口座管理機関 連絡先)  
三菱UFJ信託銀行 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
TEL.0120-232-711(フリーダイヤル)
- 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行本支店、みずほ銀行本支店およびみずほ証券本支店でお受けいたします。

### 株式の状況 (2017年3月31日現在)

発行可能株式総数	42,560,800株
発行済株式の総数	10,886,900株
株主数	5,016名

### 大株主 (2017年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
ソフトバンクグループジャパン合同会社	5,367,500	54.57
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	525,500	5.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	242,100	2.46
東海東京証券株式会社	161,200	1.64
石川 憲和	120,000	1.22

※持株比率は、自己株式(1,050,621株)を控除して計算しています。

### 所有者別持株比率 (2017年3月31日現在)



### ソフトバンク・テクノロジー株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿六丁目27番30号  
新宿イーストサイドスクエア 17階

TEL	03-6892-3050 (代表)
URL	<a href="http://www.softbanktech.co.jp/">http://www.softbanktech.co.jp/</a>
お問合せ先	経営企画本部 経営企画部
MAIL	sbt-ir@tech.softbank.co.jp



※記載されている会社名、ロゴ、製品名等は、それぞれ各社の商標または登録商標です。  
※本紙では、フォントワークス様のフォント「ニューロダン」を使用しています。  
Copyright© SoftBank Technology Corp. All Rights Reserved